

① 研究課題名：

SCU（脳卒中ケアユニット）入室から急性期脳梗塞治療開始までの時間短縮へのアプローチ

② 研究の目的：

アクションカード*1を用いたアプローチ方法が、tPA*2 静注療法開始までの時間短縮に有効であったか否かを検証する。

*1：急性期脳梗塞と診断された方が SCU に入室した場合の、入室後から tPA 静注療法実施までの一連の手順を定めた SCU 病棟看護師の業務手順マニュアル

*2：血栓溶解薬（商品名：アクチバシン注600万）

③ 研究期間：西暦 2018年 12月 ～ 2019年 1月 31日

④ 研究実施施設及び研究責任者

名古屋市立東部医療センター 看護部（東1階病棟）

研究責任者：東1階病棟 看護師 石川ちひろ

⑤ 研究の対象：

急性期脳梗塞治療のために、当院 SCU（東1階病棟）脳神経外科又は神経内科に入院し、2017年4月1日～2017年10月31日（アクションカード導入前）又は2018年4月1日～2018年10月31日（アクションカード導入後）の間に tPA 静注療法を実施された方。

⑥ 調査項目：

疾患名（病型）、発症時刻、来院時刻、SCU 入室時刻、tPA 治療開始時刻、血管内治療開始の有無と時刻、治療前後の脳卒中重症度評価スケール NIHSS 評価点数、インシデント報告の有無と内容

⑦ 研究の方法：

担当医師が、あなたの診療録から上記【調査する項目】を収集し、「症例調査票」に記載します。得られた情報を集計し、アクションカードの導入により、SCU 入室から tPA 静注療法実施までの時間が短縮されているか検証します。

⑧ 研究成果の公開

この研究成果は個人が特定されない形で、学会及び論文掲載にて公表されます。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて登録されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は、利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	看護部 (東1階病棟)	石川 ちひろ TEL：052-721-7171（代表）